

# 土浦平和の会

ニュースNO・122 2002年10月

発行 土浦平和の会  
事務局 土浦市神立町2664-2  
TEL 31-9122

## 平泉・遠野・花巻 平和の旅 中村町 村越征雄

秋澄む 恵まれた天気 土浦を後にする。私は 二日酔いで最悪のコンディションのため 出発早々車中で早朝の眠りについた。

突然 大声で起こされて ねむりまなこでぼんやりと車窓からの田園風景を眺めると そこはもう岩手県一関あたり。土浦より1ヶ月遅れの稲刈りの最盛期である。私も 今年生まれて初めて「宍塚の自然と歴史の会」の田植え 稲刈り おだ架けなどを経験して 百姓の厳しさを知らされたので 興味を持って見続けていると “田圃一面に整然と並んで立っている” おだ” が 個々に美しく生まれ すばらしい芸術である。なぜか心休まる風景である。

二日酔いもやっと醒めたところで スケジュールどおりの見学が始まる。毛越寺の伽藍は全部焼失して 往古のほんの一部が復元されているが 庭園は当時のままの姿を今に伝えている。

松尾芭蕉がこの地で詠んだ句が

夏草や つわものどもが 夢の跡

栄華を極めたであろう庭園は 大変に美しい

つぎの 中尊寺は 創建当時の 唯一の建物 “金色堂” に展示されている全ての工芸品が国宝だが 歳月が戦乱を洗い流し 静かなたたずまいを見せていた。

今日の宿は 遠野 たかむろ水光園（農村交流センター）。トロン大浴場で疲れを流し眠りについた。二日目の朝6時 気分爽快に起床。朝風呂に入り汗を流す。朝食のあと 宿の広い庭園を散歩して曲がり家 民具館 芸能館などを見学し 二日目の見学へと出発。最初の見学は伝承園 続いて ふる里村 ここは体験学習もできる広大な田園風景が広がる。語り部が遠野民話を話してくれる。そして花巻へ。

科学者であり芸術家 哲学者の宮沢賢治の記念館へと入り 展示された生の原稿を夢中で読んでみると 童話の世界に引きずり込まれていくのに驚かされる。貧しい農村を豊にしようと努力したり 不思議な童話ができたり。賢治の世界は奥が深い。

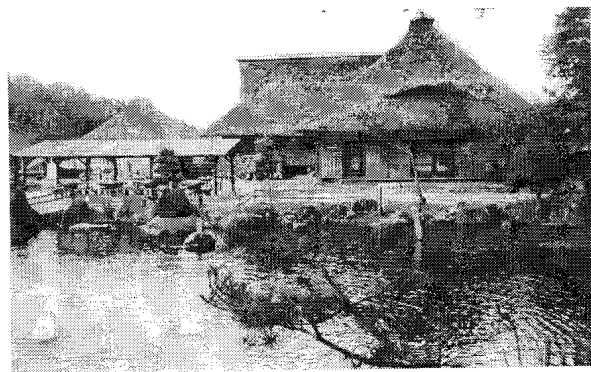
現実に戻ると ブッシュ米大統領は イラン攻撃へと進んでいるし 小泉首相は有事法案を強行採決して 自衛隊を米軍の弾よけにしようとしている。この落差は何だろう。

帰路の車中はメルヘンの世界の夢見ながら深い眠りに入ってしまった。

幹事さんお世話になりました。厚くお礼申し上げます。

### 有事法案反対署名

### を早急に集めよう



「たかむろ水光園」曲がり家

#### 行事ごよみ

- |                          |                        |
|--------------------------|------------------------|
| 9・25 平和を求める市民連絡会（神立コミセン） | 10・5～6 平和ツアー（岩手）       |
| 9・26 平和の会理事会（神立コミセン）     | 10・16 平和委員会常任理（水戸市民会館） |
| 10・1 平和を求める市民連絡会（神立コミセン） | 10・17 平和の会理事会（神立コミセン）  |